

発達障害の客観的評価・診断

脳機能系障害研究部 脳神経科学研究室では、発達障害の客観的な評価、診断に向けた基礎的な研究を行っています。現在、自閉症の方などを対象として、認知特性を明らかにするために独自の心理検査や脳機能検査（fMRI, MEG）を実施しております。

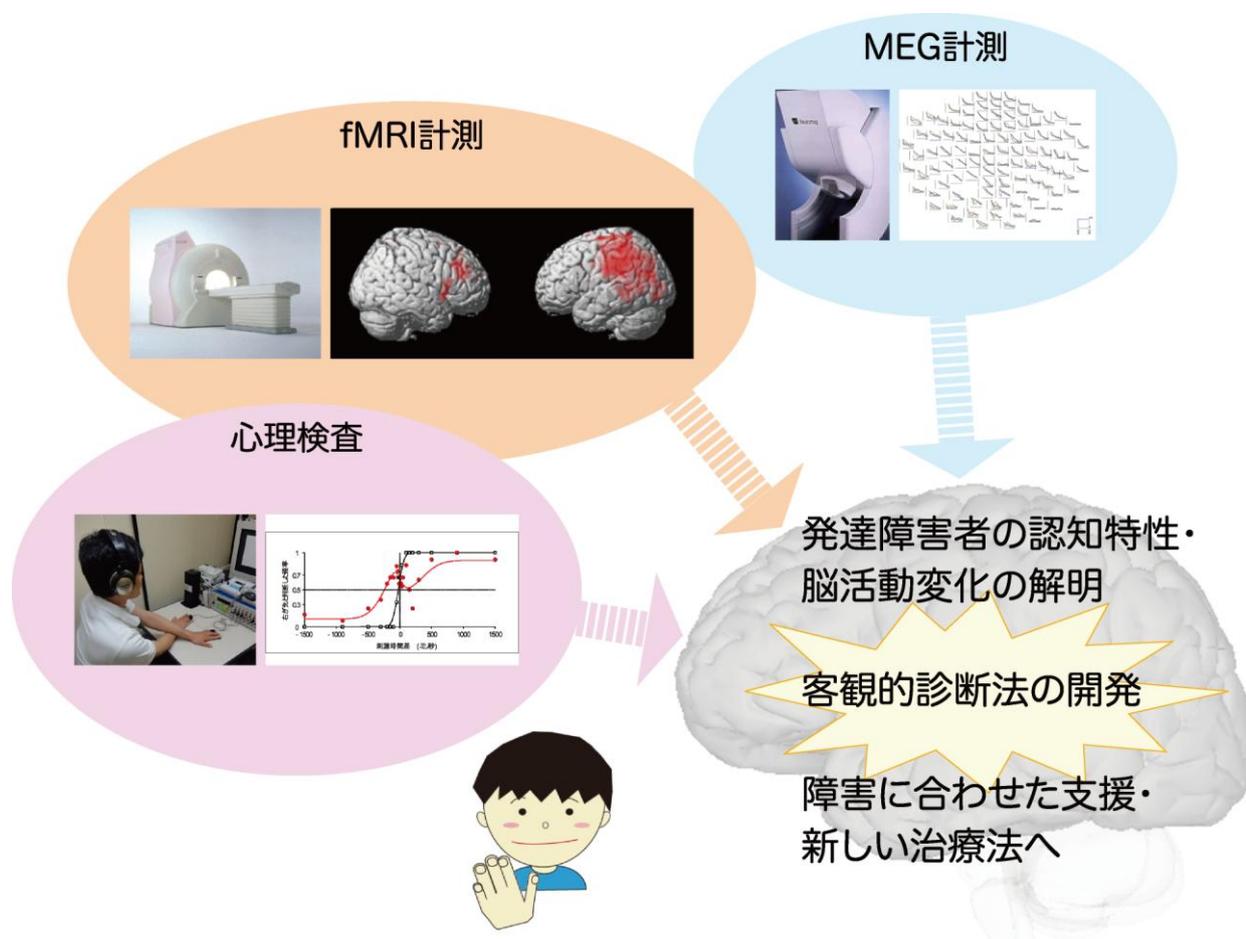


図1 発達障害の客観的診断に向けて

これらの検査を通じて、発達障害をお持ちの方で生じている認知特性や脳活動の変化について手掛かりが得られます。画像診断や心理検査によって発達障害の客観的な診断が出来るようになれば、各々の障害にあわせた支援や治療を行えるようになります。

研究代表者： 脳機能系障害研究部 神作 憲司
kansaku-kenji@rehab.go.jp